

情報公開文書
臨床研究協力についてのお知らせ

研究名 下部消化管穿孔に対する緊急手術患者における Post Induction Hypotension (PIH)の関連因子を調査する多施設後向き観察研究

1、研究の目的・方法

下部消化管穿孔（結腸に穴があいてしまう状態）によるショック状態などの患者さんに対する麻酔では、急速に状態が悪化する可能性が高く、麻酔科医にとって大きな課題です。しかし、このような患者さんに対する最適な麻酔方法に関するエビデンスは限られています。重症患者における安全な麻酔導入（麻酔をかけること）のためには、一般的に使用される導入薬それぞれの血圧へ与える影響を明確にすることが求められています。そこで、今回、麻酔導入薬が、血圧に与える影響を評価し、重症患者さんにおける最適な麻酔導入薬の選択に寄与できるエビデンスを提供することを目的に多施設共同で後方視研究（カルテのデータを集める研究）を行うことにしました。

2、研究期間

実施許可日 ～ 2029 年 3 月 31 日

3、研究対象者

2022 年 4 月 1 日～2025 年 10 月 31 日の期間に、下部消化管穿孔に対して緊急で手術を受けた 20 歳以上の患者さんを対象とします。

4、提供する情報の取得方法

電子カルテおよび麻酔記録に保存されている情報（診療記録等）を記録します。なおデータは患者さん個人を識別できないようにした状態で保存、保管します。

5、個人情報の取扱い

本研究では電子カルテおよび麻酔記録よりデータを抽出します。情報を取得した後は、氏名、診療録 ID 等の個人の識別が可能な記述は用いず、個人とは無関係な研究用識別番号を付すことで他の情報と照合しなければ個人を識別できないように加工をします。本研究に関する情報等は研究結果の最終公表後から 10 年間保管し、紙媒体の裁断または電子ファイルの消去により復元不可能な形で廃棄します。データ解析を行う施設に患者さんの個人を識別できないようにしたデータのみを提供します。

6、研究結果の公表の方法

学術集会での報告、論文として公表することを予定しています。

7、お問い合わせ先

研究対象者に関する試料・情報を当該研究に用いること（他の研究期間への提供も含む。）に対して、拒否をご希望される場合や研究資料（研究計画書及び研究の方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲で入手・閲覧を希望される場合は、以下の窓口へご連絡ください。

JCHO 仙台病院 芹澤陽子

TEL 022-378-9111(病院代表)